

平成 27 年度決算 事業等説明資料

(単位：円)

会計名		簡易水道事業特別会計				
設置目的		安全・安心な水の供給				
決 算	項 目	決算額			増減内訳・理由	
		H27	H26	増減		
	歳入①		409,520,844	579,818,546	△170,297,702	水道使用料（現年度分） +3,673,431
						国庫補助金 △53,565,000
						一般会計繰入金 +2,712,423
						市債 △134,000,000
		うち一般会計繰入金	57,492,364	54,779,941	+2,712,423	
	歳出②		403,488,364	579,146,546	△175,658,182	簡易水道維持管理事業 +7,890,113
						簡易水道拡張改良事業 △198,238,400
						簡易水道施設災害復旧事業 △834,840
市債償還元金 +11,099,807						
市債利子 +881,990						
	翌年度に繰り越すべき財源③	6,032,480	672,000	+5,360,480		
	実質収支（①－②－③）	0	0	0		
決算概要	<p>【決算の特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して実施した養老・日ヶ谷簡易水道統合整備事業の事業費が前年度に比べ減少したことにより、歳出総額は大幅に減少した。</li> <li>・一方、歳入総額も、上記に伴う国庫補助金及び市債の減等により大幅に減少した。</li> <li>・また、一般会計繰入金については、水道使用料（現年度分）が微増になったものの、施設の維持管理経費や公債費（元金）が増となったことから、前年度に比べ約 2,700 千円増加した。</li> </ul> <p>【特記事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水道事業との経営統合を控え、将来に向けた「維持管理の効率化」と「安全・安心な水」の安定供給を図るため、簡易水道施設の統合整備と老朽化した石綿管の布設替を積極的に実施した。</li> <li>・H27 末の市債残高は 1,684,170 千円（対前年度比+93,813 千円）</li> </ul>					
	備考					
担当室・係	建設部 上下水道課 管理係			TEL	0772-45-1633	特-6